

宮城県ツキノワグマ総合緊急対策と連携した仙台市内の取り組み

県予算による仙台市内の取り組み

取組1 クマから「県民を守る」緊急対策

(1) 被害防止資材の市町村への配布

- ✓(花火等配布) 県より受領した花火等を各区へ配布
(爆竹310個・ロケット花火247個・ホイッスル191個・クマ鈴110個)。

(2) 出没時対応のための資機材の配備

- ✓(箱わな貸与) 県より箱わなの貸与を受け、宮城野区に檻式1個、泉区にドラム缶式2個を配布。

(3) クマ出没地域の見回りの強化

- ✓(見回り強化) 県の委託により、警備会社が青葉・泉区、太白区の2チーム体制で市内(八幡、大手町、岩切、熊ヶ根、八木山、上野山、根白石、寺岡、住吉台等)を巡回。

(4) クマ出没危険箇所対策

- ✓(誘因木伐採) 県の委託により、クマ誘因のリスクが高く、管理者による伐採が困難な民地の誘因木を伐採
(青葉区6本・泉区17本 計23本)。
- ✓(県河川刈払) 県の委託により、広瀬川流域の評定河原、大橋下流(市の希望)から刈払い開始。
- ✓(登山道等への看板) 県の委託により、自然公園等(秋保大滝パノラマのみち・二口渓谷清流山狭のみち)へ看板設置予定

取組2 農林水産事業者の安全確保対策

(1) 農業者の安全確保対策

- ✓(センサーダーマ貸出) 県より貸与を受けたセンサーダーマを各区に配布
(青葉区3台、宮城総3台、若林区1台、太白区5台、秋保総3台、泉区1台)